

日本共産党 和歌山市公議員

ひめだ高松ニュース

No.1304

'20.8.4

7月臨時市議会報告



大相撲7月場所は、2横綱が休場となり、初場所の徳勝龍に続き、幕尻の照ノ富士が優勝。ケガや病気で大関から序二段まで降格していたというのも驚きです。近畿の梅雨が明けた途端に8月になりました。7日は立秋、暦の上ではもう秋といえるのも嬉しいです。前回の誌き本も7月臨時市議会の総務部会報告の報告です。

公共交通のコロナ対策予算

7月臨時市議会でもコロナ感染症対策として総務部の補正予算に計上された地域公共交通感染拡大防止対策事業46万4千円は、公共交通

機関を安心して、安全に利用してもらったために交通事業者が実施する、新型コロナウイルスに効果が期待できる抗菌剤の吹付け及び

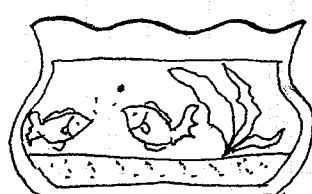
バス運転席仕切りカーテンの設置を支援するもので、路線バス、高速バス、また川線が対象です。

地域バス運営奨励金事業40万円は、紀三井寺地域バスの利用者が急減し、運営収入が大きく減っている状態であったため運行継続のために交付するものです。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策等影響に対する奨励金事業857万円は、タクシードライバーについて、市民の外出機会が大幅に減少している中、高齢者の病院等の要請に応えるため、法人タクシー801台、個人タクシー560に1台あたり1万円支給するものです。

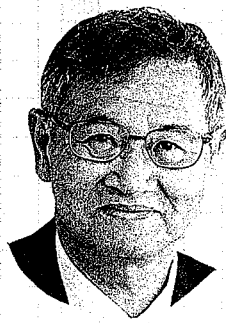
次号予告とお知らせ

8月9日と16日付けは旗日曜版が合併してあるため、次号の「ひめだニュース」は23日付け日曜版オリコミとなりします。コロナ対策について詳しくお話しします。



今週のフツ人々 (その250)

マスクより顔が耳大きく、手品師のマスク(審判)の十八番「耳が」で、つかくな。ちやっとな「を」思い出しました。小せめのアベノマスクをよびや、く外して、アベ首相のマスクが、でっかくな。ちやっとなのです。だいたい最近のマスクは顔が半分隠れる大きさが一般的なのに、アベノマスクは口と鼻を覆うために最小限のガーゼで作りましたといふので、千枚の途

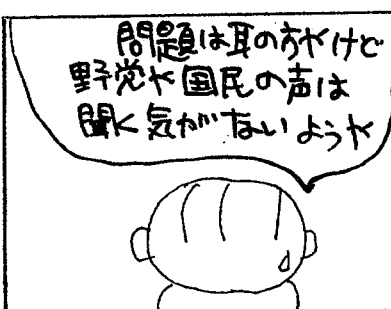


ひめだ 家宏

フツ人々



<1087>



大門参院議員の国会報告会

7月26日(日)市民会館小ホールで坂口多美子参議と井本有二参議の国会報告会が実施されました。大門参院議員は、閣の勢力保持や公選法違反が問われた株取引や、河井前首相の賭博摘発、新種コロナ感染症への後手後手の対応などへの政権を担う覚悟を述べました。

IR反対運動も、とどまらばよう

大門参院議員は、「コロナの影響など、国の骨太方針からIRの記述が削除されているが、和歌山では事業者の公募に企業が参加表明している。この先どうなるのか」との会場からの質問に対し、「業者は中型施設の誘致を狙っており、非常に危険だ。反対運動を続けることなく広げる必要がある」と答えました。

日本共産党が「黒い雨」被爆者救済を

日本共産党の小池晃書記局長は井上哲士参院議員、原田喜博、本村伸子、宮本敏の各参院議員は7月31日、厚労省に広島入りの原爆投下で「黒い雨」

を浴びて健康被害を受けた人々を被爆者と認め、広島地裁判決に従い控訴せず、原告の早期救済を求める申し入れを行いました。小池書記局長は被爆者救済法の理念を踏まえて広く救済することと求めた画期的な判決だと強調しました。

広島市と協議して控訴しない原告全員にただちに被爆者健康手帳を交付する▽「黒い雨」被爆者の早期救済を行う▽原告被害への国家補償と被爆者救済の抜本的改善に取り組みます。

潮流

世界第2位の経済力を持つ国の数字は、とても思えませんが、東京都医師会の会見では、2025年に「国の無策の中、感染者が増えるのは我慢できない」と投稿した尾崎治夫会長が「せひ国会を開いて議論していただきたい」と訴えを強めました。

「帰るべきか、帰るべきか。新型コロナウイルス感染の急拡大に、振り子のようには揺れています。母、85歳。故郷を一人暮らして。留守番電話には、東京にいるおばあちゃんに声が残り残っています。おばあちゃんに、同じように悩んでいる人はいるのではなからうか。自分が無症状の感染者かもしれない、と、不安をめぐるのは、PCR検査にはおなじみです。ためて自分の住む自身体験の陽性率のデータがほしい。お実こそ願います。▼そんな中、「世界で150万人」という数字に衝撃を受けました。共産党の志位和夫参院議員が「安倍三首相宛ての緊急申し入れ」で、「日本のPCR検査の人口比での実施数」(7月28日現在)です。ー現在の最新データで157位に上がったとはいえ、

赤旗 日刊 497円 日曜 497円 日曜 497円